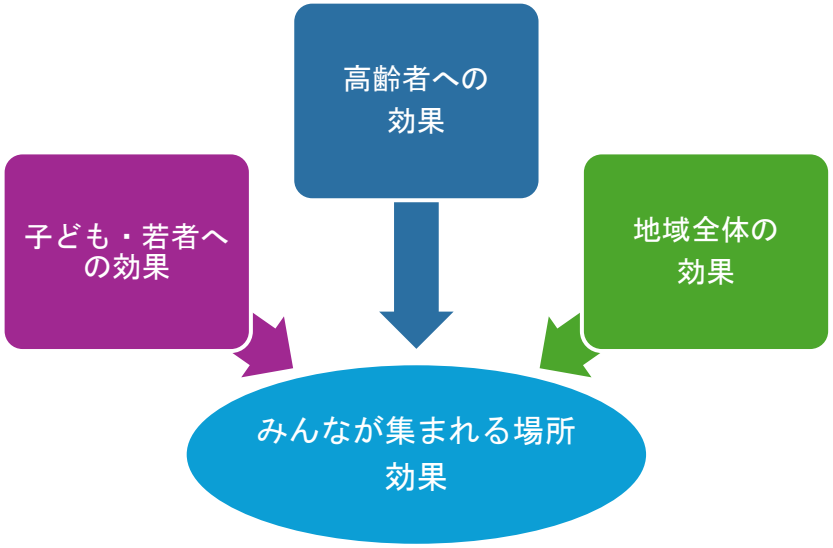
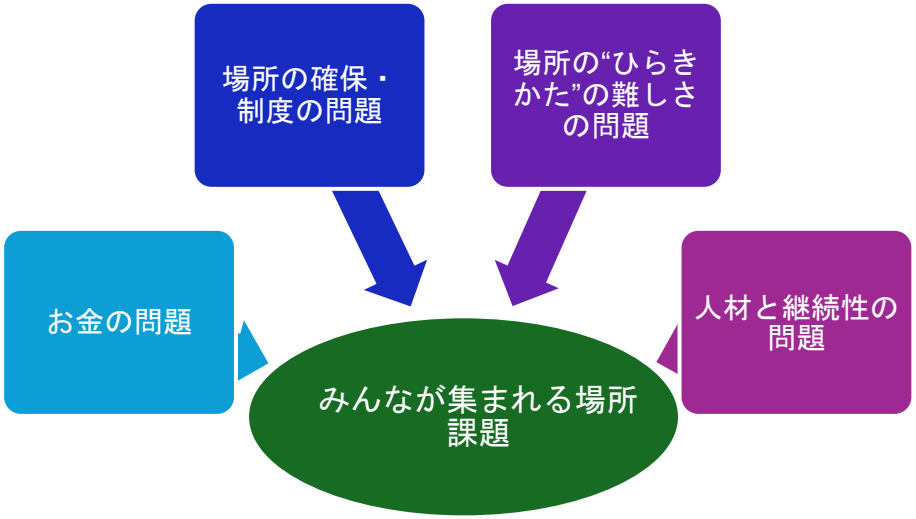
みんなが集まる場所の効果



みんなが集まる場所の課題



第３部　ワークセッション　意見まとめ
Q1,みんなが集まれる場所を探した経験はありますか？どうやって探してますか？

▼ 探したことがある（YES）
- 自分の家・親の家を使ったことがある
- 空き家を地域で活用した
- シェアできる場所を探した
- 行政施設を使った
- 空きスペースを借りた
- スーパー・公共施設を利用
- SNSやネットで探す
- 人から紹介してもらう
- コミュニティスペースを利用
- 既存の活動に参加して情報を得た
- Little STAND など既存拠点を活用
- 「まちの人」が使っている場所を参考にした

🔎 探し方・見つけ方
- ネット検索
- SNS・口コミ
- 行政のサイト
- 既に運営している人に聞く
- 自宅や空き家など身近な場所を使う
- まち歩き・現地観察
- コミュニティ経由
- マップを見る
- 少人数から始めて場所を育てる
- 訪問して交渉する
- 地域のルートを使う（紹介ネットワーク）

🧠 背景で語られていたポイント
- 「場所はあるが運用が難しい」
- 「いい場所があっても管理できない」
- 「空き家はあるが使われていない」
- 「システムが必要」
- 「行動が一緒になることが大事」

🔑 キーワード（この質問に関連）
- 空き家活用
- 自宅利用
- コミュニティ
- シェアスペース
- 行政施設
- ネット検索
- 口コミ
- 多世代
- リソース発掘
- ルート
- まちの人
- Little STAND
- システムづくり
- 誰でも使える場所

✨ まとめ
多くの人が「集まる場所を探した経験あり」と回答しており、探し方は主に ネット検索、口コミ、地域のつながり、空き家や自宅の活用 が中心。
「場所はあるが運用・管理が大変」「サーチシステムづくりが重要」といった課題も同時に語られている。

第３部　ワークセッション　意見まとめ
Q2, みんなが集まれる場所はどんな場所が欲しいですか？こんな場所あったらいいなと思う場所は？

■ 場所の特徴・機能
- 多世代が集まれる
- 子どもも大人も高齢者も
- ペットも一緒に過ごせる
- 行き来が自由
- ちょっと立ち寄れる
- 気軽に使える
- 滞在しやすい
- 居場所になる
- 話せる場所
- 交流できる
- コミュニティが育つ
- つながりが生まれる
- 誰でも利用できる
- 目的によって使える
- 支援が届く
- 安心できる
- 「帰ってきたくなる」場所

■ 仕組み・条件
- システムが必要
- 安定した運営
- バックアップ体制
- 維持管理できる
- 多様な人が関わる
- 町の人に支えられる
- 行政＋民間＋住民の協働
- ボランティアではなく持続可能
- お金も回る仕組み
- 地域資源を活かす
- 空き家を活用
- ルート（アクセス／関係性）が重要

■ 空間イメージ / 具体例
- 子ども・高齢者・ペットの共存空間
- 多世代リビング
- 公園のような開かれた場所
- カフェのように気軽な場所
- コワーキング＋団らんスペース
- 小さな「まちの拠点」
- Little STAND のような小規模拠点
- 防災拠点にもなる居場所
- 商店街の空き店舗を活用
- 学校の跡地を活用
- 町中に点在する小拠点
- ハードとソフトが整った場所
- コミュニティセンターの進化形
- ソフト（寄りどころ）＋ハード（場所）の両立

✨**まとめ**

みんなが望んでいるのは、**「子ども～高齢者＋ペットまで多世代が気軽に安心して立ち寄れ出入りでき、居場所になる場。**
その場で交流が生まれ支える地域とゆるくつながれる場。
そのためには、**空き家や小規模スペースを活かし**
持続可能な運営システムと地域ネットワークを備えた拠点が求められている。